

# 家庭教育通信

第12号 平成22年2月11日発行

## <テーマ> みんなで子育て

区では、おもに就園前のこどもと親が集まり、親子分離で活動に参加する「幼児をもつ親の学級」を開催しています。参加する方は第1子の場合が多いこともあり、この講座に参加するまで、日中母子2人きりで過ごしていたという家庭が多く見られました。

開始当初は分離時にこどもが泣いてしまい、親もこどものことが心配で落ち着かない様子がみられました。しかし、最後の回が近づくとつれ、親子ともに柔らかい表情になり、自信さえ感じられるようになっていきました。

## みんな一緒 みんなそれぞれ

お母さんたちは、この講座でこれまで抱えていた子育ての悩みを話し合ううちに、こどものことで悩んでいるのは自分だけでなく、他の親も同じように悩んでいるのだと知ります。それとともに、親子や家族のあり方はさまざまで、育て方にもいろいろな意見があり、正解が一つではないのだと気づくことになりました。

こどもの成長には個性があり、親の価値観もいろいろです。子育てについて同じような思いを共有したり、違いを認め合うことは、親自身の社会性を培うことにもなります。

## 地域のなかで育ち合う

最近の子育てに関する調査で「親子で一緒に過ごす子育て仲間がいますか」という問いに、3歳までの子をもつ親の3人に1人が「いない」と答えたという報告があります。自分から新しい場に入っていきるのが苦手だったり、きっかけが見つけにくい場合には、近くの子ども家庭支援センターや保健相談所、幼稚園の未就園児の会などを訪ねてみましょう。保育士や先輩ママなどから、子育ての情報や関係作りの糸口が見つかります。

親が支えられて、安心感や気持ちの余裕を持てるようになると、お互いのこどもの成長を見守りあえる関係をはぐくむことができますでしょう。

## Nobody's Perfect (完璧な親なんていない)

カナダに「親であること」を支援するこのような名前の教育プログラムがあります。子育てに「こうであるべき」という決まりごとはありません。地域社会に守られながら、ほどよい親子のかかわりを見つけていきましょう。

[問] 江東区教育委員会事務局課社会教育担当係 Tel (3647) 9676